

2018年4月12日
第69号

全労連

全労連
憲法・平和グループ

憲法 平和闘争ニュース

医労連
青年部

21世紀初、青年だけで署名行動！

青年統一行動期間に、夜勤改善署名と 3000 万人署名にとりくみました！

愛知県医労連青年委員会は、学習会と署名宣伝行動を行いました(3月3日)。県医労連の青年だけで署名行動を行ったのは21世紀初の試みで、急な呼びかけにも関わらず6人の青年が参加しました。署名行動前に、署名の意義やこれまでの運動の歴史について学びました。

また職場での夜勤の大変さを交流、「夜勤中2時間の休憩はあるが、2フロアに1人なので、2つのPHSをポケットに入れたまま、とても仮眠できない」「パソコン前に座る時間が取れないほどナースコールが鳴って疲れる」など過酷な実態が語られました。

学習後は署名宣伝行動へ。金山駅前へ移動して夜勤改善署名と3000万人署名を集めました。青年が呼びかけるといつもより反応が良く、自分も介護福祉士だと寄ってきてくれる方も。1時間強の行動で計76筆の署名が集まりました。



神奈川県医労連青年委員会は、ミニ学習会&署名宣伝行動を実施しました(3月3日)。署名宣伝前のミニ学習会は、民医連に勤める仲間から沖縄フィールドワークの報告。沖縄の戦争の記憶や在日米軍・オスプレイの危険、高江・辺野古の現状などを学びました(左写真)。

宣伝行動は関内駅前へ移動して開始！道行く人が次々と「署名するよ」と寄ってきてくれました。医療・介護・福祉現場、運送業実な声も寄せられ、今の日本には、労働環境を改善していくしくみと働くルールづくりが本当に必要だと実感できる署名宣伝行動になりました。行動は、30分で23筆も集まり、参加者が多ければ多いほど署名が集められる確信も得ることができました。



山梨民医労青年部は、甲府駅信玄公像の前で、「安倍9条改憲No!」の署名宣伝行動、ティッシュ配布を行いました(3月3日)。青年部でチラシを作成、統一行動日にあわせて「憲法9条にカンパイ行動」をとりくんだり、青年中心に呼びかけた行動となりました(左写真)。

長野県医労連青年部は、会議(3月13日)にあわせて9人で3000万人署名宣伝行動にとりくみました。

署名宣伝行動が「初めて」というメンバーが大半の中、「むちゃくちゃ恥ずかしい。でもみんなでやろうって決めたことだから」と通行人に声をかけながらとりくみました。「短

い時間だったけれど、青年部としてとりくめてよかった」と声が寄せられています。

岡山県医労連青年部は、3月31日に3000万人署名行動に取り組んでいます。6人で行動し、25分間で3筆集約することができました。参加者からは「なかなかしてくれませんか」と感想が寄せられました。

建交労は、4月6日3000万人署名全国統一行動にとりくみました。当日は、未明から激しい雨に見舞われ、とりくみを延期せざる得ない地域もありましたが、6日は、東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・兵庫・長崎・鹿児島で、その他、5日は京都、7日は愛知、9日は新潟で実施されました。



兵庫県トラック部会は、4月6日大荒れの天候が予想されるなか第二神明・明石PA(上下線)にて11時から大粒の雨が降る12:45分まで、新しいトラック部会のビラ入りティッシュの配布と戦争法阻止3000万署名に取り組みました(左写真)。

参加は12名(関西合同支部6名、兵庫合同支部4名、関西支部1名、テーエス支部1名)で、ティッシュ約600枚と署名41筆(31筆＝関西合同支部、10筆＝兵庫合同支部)でした。

東京トラック部会は、朝7時から平和島流通団地前と品川駅港南口で7人で、ビラ入りティッシュを1,000部配布しました。

埼玉トラック部会の仲間8人で、JR南越谷駅前および越谷流通団地でチラシ1,000部と春闘チラシを500枚配布・ポスティングも。

神奈川県南支部は、神奈川県大和市内の東神トラックステーションでトラック運転手を対象に宣伝・対話・署名行動にとりくみました。この行動には神奈川県本部から高橋書記長、県南支部では佐藤委員長はじめ9名、東神TSでの宣伝・対話・署名に参加したのは10名となりました。

しかし、東神TSのサービス施設は工事中で運転手はほとんど車外に出ることなく宣伝には不向きな状態でした。それでも20人のドライバーと対話ができ、低賃金や長時間労働などトラック労働の相変わらずの実態が明らかになりました。

大阪トラック部会は、吹田SAの上下線で春闘組織拡大宣伝と安倍9条改憲NO! 3,000万人署名にとりくみました。午前の行動は計14人が参加、署名53筆、ビラ入りティッシュ600部を配布。午後は東大阪トラックターミナルで、組織拡大宣伝を12人でおこない、トラック部会スポット原稿による宣伝でビラ入りティッシュを100部配布しました。

静岡トラック部会では、4人で静岡市・焼津市・藤枝市・大井川町を中心に流しテープで宣伝カーを運行。雨天でビラの配布はできませんでしたが、後日浜松トラックステーションに置いてもらうよう準備しています。

長崎県トラック部会は、4月5日に長崎市内(2人参加)、6日にトラックステーション周辺(2人参加)で宣伝カーの運行をおこない、7日にはオイルターミナルでのビラ配り(2人参加)の計3日間を通して宣伝行動を実施しました。

○「9条改憲ゆるさない」共同の広がり、沖縄でも、青年でも

沖縄で「安倍9条改憲に反対する県民連絡会」(仮称)の呼びかけ

4月4日、沖縄で「安倍9条改憲に反対する県民連絡会」(仮称)への賛同が呼びかけられました。呼びかけ人は、前名護市長稲嶺進さん、前県会議員山内未子さん、うるま市具志川9条の会共同代表平安山英盛さん、大宜味村憲法9条を守る会会長平良啓子さん、沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」の具志堅隆松さんの5人。

「自衛隊は安保関連法(戦争法)の成立により、専守防衛から海外でも集団的自衛権を行使できる実力組織となりました。憲法9条に自衛隊が明記されれば、戦争の放棄・戦力の不保持・交戦権の放棄を定めた9条の1項、2項が事実上死文化、自衛隊が海外で軍事行動に際限なく参加できることとなります。県民の平和への思い、新基地建設を許さない県民の民意をすべて否定する事に繋がり、到底容認できません」と、「安倍9条改憲NO! 全国統一署名」に取り組む県内組織の立ち上げを呼びかけました。

日本青年団協議会常任理事会が「憲法改正に関する要望書」を各政党にだしました(4月6日)

日青協は、1951年「青年は二度と銃を取らない」とちかい、地域青年団の全国組織として結成され、活動しています。

要望項目は、以下の3つです。
「①戦争できない国づくりをすすめるためにも、今般の第9条の改憲に反対するとともに、第9条をいかに平和な社会の実現を目指すことを求めます。②緊急事態に際しては現状の規定で対応が可能であり、緊急事態条項の新設を見送ることを求めます。③改憲に際しては主権者たる国民が十分に議論したうえで行われるよう、しっかりと条件整備を求めます」。